

令和7年11月27日

各施設長・事業所管理者 様

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会
会 長 加 藤 馨

令和7年度 第2回施設長・管理者研修会の開催について(再周知)

標記研修会の開催につきましては、10月27日(月)にご案内をさせていただいたところですが、回答期限を12月12日(金)まで延長することとし、改めて次のとおり周知させていただきますので、是非、多くの方の参加をお願いいたします。

- 1 日 時 令和7年12月18日(木) 15時00分～16時30分
- 2 会 場 ロイヤルホールヨコハマ 4階 エリゼ
- 3 講演内容 「江戸の文化と暮らし」
 講師 松蔭大学 経営文化学科 教授 小林 克 氏

江戸時代は、歌舞伎や浮世絵、黄表紙など様々な文化が花開き、現代の私達につながる暮らしが始まっていました。寿司や天ぷら、蕎麦などが気軽に食べられ、居酒屋や屋台で一杯やることも多かったのです。

近年の考古学の発掘調査で、東京の地下には、江戸の街と、人々の「暮らし」が眠っていることが分かってきました。また墓の発掘により、江戸の人々はどのような最期を迎えたのか、埋葬の様子もみえてきています。

当時の平均寿命はとても若かったと言われていますが、これは乳幼児の死亡率が極端に高かったためで、20歳以上の人の寿命は、60歳前後だったとも言われています。健康・長寿をといいた『養生訓』も多くの人々に読まれ、葛飾北斎や滝沢馬琴など、長生きして活躍した人が何人も存在しています。

江戸時代は日本の社会福祉史上、発展を遂げた時代です。

徳川吉宗の「享保の改革」では「小石川療養所」が設立され、庶民への医療提供が制度化されました。この療養所は、身分に関係なく治療を受けられる画期的なシステムで、幕末まで続きます。

長屋の暮らしでも、住民が日々の暮らしを共にし、お互いに助け合うコミュニティが形成されていました。

歴史を学ぶことは、過去を知ると共に、今、そして未来を見つめ直すきっかけになります。

この機会に、江戸の暮らしと文化を通じて、日本人の暮らしや価値観のルーツに触れてみませんか。

（ 問い合わせ先 事務局 天池
TEL 045-311-8745 FAX 045-311-8768 ）

○ 施設長・管理者研修会 参加申込(下記に施設名等を記入の上、ご返送ください。)

施設名・事業所名 _____

参加者氏名 _____ 参加者氏名 _____



発掘された江戸の上水道

